

『経済学』と『経営学』はどう違うのか 浦山 剛史
—経営学を学ぶ意義を知ろう—



1. 授業の概略

今回の授業では、①「経済学」と「経営学」の違い、および②みなさんが「経営学」を学ぶ意義について解説します。

「経済学」については、「政治・経済」の授業で少し勉強するかと思いますが、「経営学」との違いについては知らないのではないのでしょうか。そこでまず、経済学と経営学の違い、そしてそれぞれの主な分野(科目)について解説します。

そのあと、経営学に絞って(私は経営学の教員なので)、みなさんの身近な事例を交えて経営学を学ぶ意義について話をします。経営学というのは社会人になってから役に立つ学問ではなく、実は高校生のいまでも活用することができる学問であることを知ってもらいたい。

2. 所属部・科等

兵庫県立大学 国際商経学部 准教授

3. 研究内容

- ① 企業が継続企業の前提に関する開示(事業の継続性に疑義が存在する場合に求められる開示)が要求される状況で経営者がとる回避行動
- ② 大学や病院といった非営利組織における内部統制(不正を防止するシステム)
- ③ 公立病院の経営改善

4. 自己紹介

神戸大学大学院 経営学研究科 会計システム専攻 博士課程後期課程 修了
博士(経営学)(神戸大学)
専攻は会計学、監査論

日商簿記検定 1 級の資格を持ち、また大学教員のかたわら税理士試験の模範解答や模擬試験を作る仕事もしていますので、税理士や公認会計士に興味があって聞きたいことがあれば、相談してください。

5. 附属高生にメッセージ

私がみなさんと同じ高校生だった時、担任の先生から「無駄な労力・無駄な努力はない」ということを教わりました。何かのために努力したり、労力をかけたけど、結果としてうまくいかなかったとしても、その過程で得られたことは無駄にはならないよ、ということです。

みなさんは高校 1 年生ということで、おそらく進路がまだ確定していない人がほとんどだと思います。いろいろな分野のオープンキャンパスに行くとか、本を読むとか、やったことのないことをやってみるとかしてみてください。話を聞いてみて読んでみて「おもしろい」、初めてやってみて「思ったよりできる」と感じたらもうけものですし、「おもしろくない」「やっぱり自分には合わない」ということがわかったら、それはそれで自分の進路が 1 つ絞れたことになるので無駄ではないわけです。いろんなところに自分の進路 (将来やりたいこと) のヒントが落ちていますので、じっと勉強だけせず、いろんなことにチャレンジしてください。

1年生高大連携授業 11月17日(火)

題目「『経済学』と『経営学』はどう違うのか—経営学を学ぶ意義を知ろう—」

兵庫県立大学 国際商経学部

准教授 浦山剛史 先生

1 授業内容

1) 概要

今回の連携授業は主に経済学と経営学の違いについて授業をしていただいた。私たちが思っているよりも身近な学問であることや、それらを学ぶことの意義について、話していただいた。

2) 具体的な内容

- ・経済とは、政府・家計・企業における「資源」の交換や配分のことである。
- ・有限である資源を活用して社会が豊かになる方法を考えるのが経済学である。
- ・分野には多くの種類があり、中でも現在注目を浴びているのが「行動経済学」
- ・経営学とは、組織のパフォーマンス向上のための戦略や運営方法を考える学問で、過去の事例などから共通要因を探し、実務に活かすことを行う
- ・コンビニでは「ドミナント戦略」と呼ばれる戦略が活用されている。
- ・戦略論：①理念・ビジョンの決定 ②競争相手の戦略を知る ③自社の強みを見つける
- ・マーケティング論：①顧客のニーズを知る ②価格の設定 ③宣伝方法 ④流通・立地条件
- ・組織論：①リーダーシップ ②モチベーション・努力の評価
- ・会計学：①資金調達 ②業績評価 ③ムダの把握・改善
- ・経済学と経営学の共通点…①有限な資源をどう活用するか ②身近な問題を扱う学問
- ・経済学と経営学の相違点…①対象（経済学は社会全体に、経営学は組織・個人）
 - ②目標（経済学は豊かさの追求、経営学はパフォーマンスの向上）
- ・経営学の対象は企業のみならず、様々な組織（クラス・家庭など）に必要とされている
- ・経営学の視点から見た、優れたチームに必要なことは、目標の共有、信頼の育成、適正な評価、負担の均等化である。
- ・報酬によって行動を取らせることをインセンティブという。これに対する反応は人や、時と場合によっても変化する。このように、経営学は人間や人間の心理を扱うため、絶対的な答えはない。
- ・経営学を学ぶ意義

①合理的な判断をするため

（過去の事例と同じような状況になった時に、知っていることを役立てることができる）

②イノベーション（革新）を生むため

（現実の社会・ビジネスの課題を対象にして、どのように解決するのかを考える）

2 感想

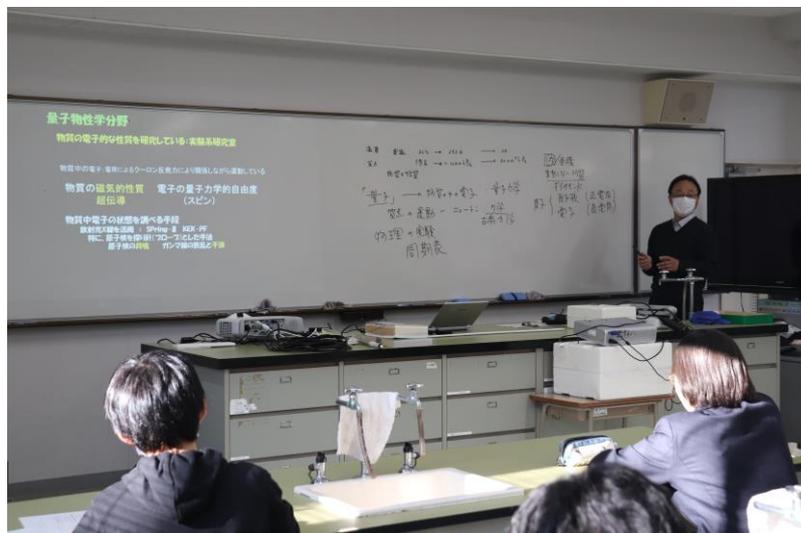
私は、これまで「経済」「経営」という言葉を聞くと、会社や政府の大人たちにしか関係のないことだと思っていた。しかし、これらの学問はとても身近なテーマが多く、私たちの生活に密接に関係を持っているのだとわかりました。普段気軽に利用しているコンビニなども、一つ一つに戦略がたくさん詰まっていて、私たちのニーズに応じてくれているのだと思いました。「人」を相手にした学問なので、絶対的な答えはないけれどそれを考え続けるといふところに魅力を感じました。

記録者：27回生1年4組生徒



「磁力と重力について：光と原子核とで磁石の原因を観る」

小林 寿夫



1. 授業の概略

- (a) 磁力と重力をみる。
- (b) 光で磁力が発生する原因を観るために。
- (c) 光と原子核とで磁力の原因（電子の状態？）を観る。

2. 所属部・科等

兵庫県立大学 大学院物質理学研究科
量子物性学分野 教授

3. 研究内容

物質が示す性質（物性）の原因を解明しようと研究している。そのために、極低温、強磁場、高圧力など通常の利用とは異なる環境を利用して、物質の中の電子の状態を観測している。このような測定をするために SPring-8 の放射光 X 線を利用している（右の写真の装置）。



https://www.sci.u-hyogo.ac.jp/material/quantum_magn/index-j.html

をみて下さい。

4. 自己紹介

出身：栃木県足利市

中学、高校とハンドボール部に所属していた（結構ハードに練習していた）。

大学、大学院と最初の2つの就職先は、全て北関東と東北（仙台）地方。

最初の就職先が、通産省（現：経産省）電子技術総合研究所（現：産業技術総合研究所）であることが、多くの大学の先生とは少し違うところ。この間、ドイツのミュンヘン工科大学で客員研究員を務めている。

5. 附属高生にメッセージ

現代は、これまでのように過去から自分の未来像を思い描くことが難しく、情報が氾濫しています。多くの情報の中から正確で自分にとって重要な情報から、自分の信じる道を如何に見つけるかを学んでください。そして、自分の信じる道に挑戦して下さい。

高大連携講義の概要

私たちが日常的に眼にする現象もその原理に立ち返って考えていくと、微視（量子）的な原理に基づくものが有ります。物質が金属板に付く現象などがその典型的な例です。金属板に付く物質のことを磁石と言いますが、この磁石という物質やその現象は古代ギリシャ時代から知られています。この現象が完全に分かるようになったのは、20 世紀に成ってからです。この磁石の原因を理解していく過程は、重力（万有引力）を理解していく過程と強く結びついています。現在、物質が磁石と成る原因は、私たちが日常的に眼にする物体の運動から想像できない、（量子的）原理に基づいていることが分かってきました。

最初に、重力と磁石についての簡単な実験により、その力の大きさを実感しましょう。

- 1) 万有引力について調べてみてください。
- 2) 世界中で最も強い磁力を示す物質について、調べてみてください。
発見した人は日本人です。

物質が磁石と成る原因を見つけるために、私たちは「光」を用いて実験しています。ここでの「光」は、人間がものを見るために用いている光だけでなくもっと広い意味で使っています。皆さんが、普段友達とコミュニケーションするためにも、その「光」を使っています。

- 3) 広い意味での「光」は、どのようなものがあるか調べてみてください。

広い意味での「光」は、人間が感じることができないものが大部分です。私たちが研究に用いている「光」も感じることはできません。

そこで、皆さんが感じることができる「音」を使って、私たちが行っている実験がどのようなものか感じてもらいます。「音」を使った簡単な実験をして、共鳴や干渉と呼ばれる現象を実感しましょう。

- 4) 実は「音」も「光」も波です。波とはどのようなものか調べてみてください。
- 5) 波ととしての「音」と「光」の違を調べてみてください。

1年生高大連携授業 11月17日(火)

題目「磁力と重力について：光と原子核とで磁石の原因を観る」

兵庫県立大学 大学院物理学研究科 量子物性学分野

教授 小林 寿夫 先生

1. 授業内容

1) 概要

今回の授業では、磁力や重力や波についての実験や、それを学ぶ上で重要になる量子力学の説明、またその歴史なので幅広い分野を取り扱っていただいた基礎的なことから示して下さり、学びの広がりを感じられる濃い話だった。

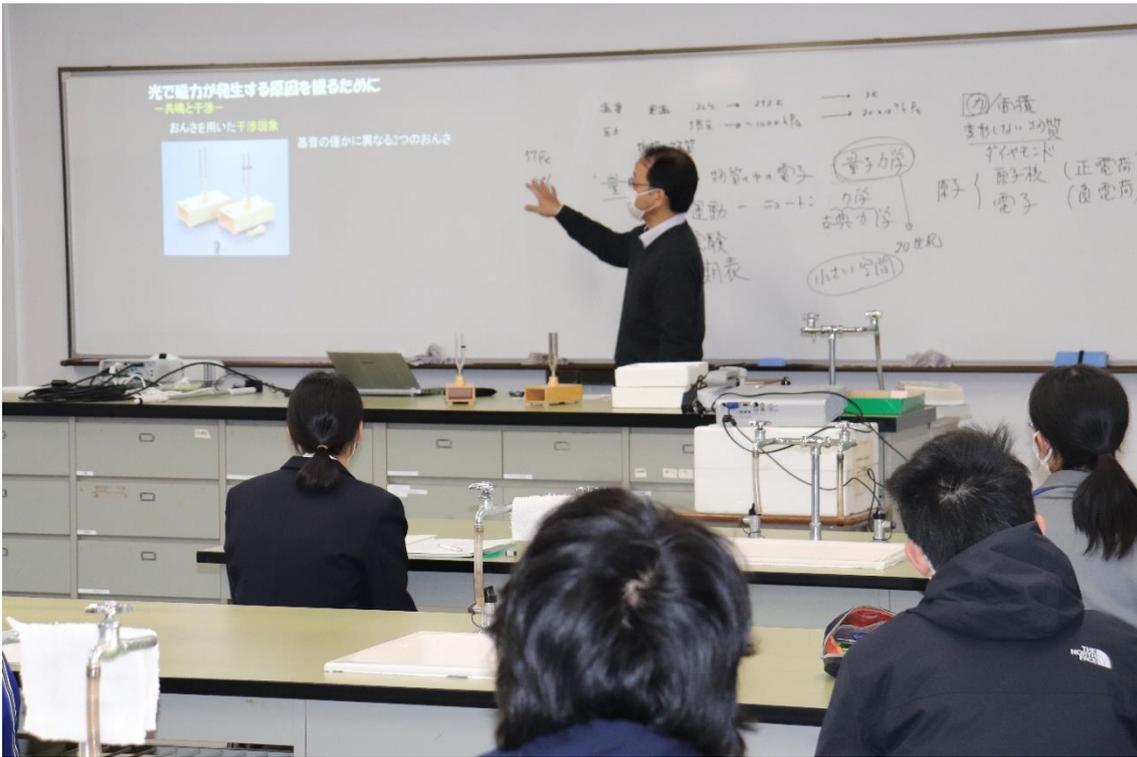
2) 具体的な内容

- ・ 物質と磁石と成る原因を見つけるために、私たちが普段生活している環境とは異なった、極低温、強磁場、高圧力といった環境を用いている
- ・ 実験には測定をするために SPring-8 の放射光 X 線も利用している
- ・ 磁石という物質とその現象の発見と説明にかかわる歴史
 - ・ 古代ギリシャ時代では、力は直接的な接触にのみ働くと思われていた、またプラトンは「磁石の引力も接触作用に還元されるべき」と説かれた
 - ・ 17 世紀に入ると空間を隔てて働く万有引力の発見により遠隔力概念、磁力からの類推が生じた
 - ・ 19 世紀に入ると、さらに万有引力の発見から力は場に還元するという考え方が生まれた
 - ・ 20 世紀に入ると量子論の発見、磁石の原因の解明への進歩と至った
- ・ 量子力学という新しい学問
 - ・ 量子論に基づいた学問であり、ニュートン力学つまり古典力学は質点の運動について求めるのに使われるものだが、量子力学は物質における原子を構成する一要因の電子がどのように運動しているかを知るために必要不可欠である
- ・ 電子は原子中で決まったエネルギー状態しか取れないという自由ではないといえるものであり、原子核の周りをまわる電子の軌跡を求めるのには量子力学が必要不可欠となっている
- ・ 磁石という物質とそれに付随する現象の究明
 - ・ 音や光は波であり、X線なども光の一種で可視光ではない、光である
 - ・ 原子核を用いた共鳴・干渉現象により、研究している
 - ・ その共鳴・干渉現象を古典的な現象により思い描くために音叉を用いた実験を行った
 - ・ 共鳴現象では、同じ周波数を外部から受けたとき振動していなかった音叉は振動した
 - ・ 干渉現象では、わずかに異なる周波数が相互に影響を及ぼして、音叉の音が通常の場合段階的に音の大きさが減少していったのと違い、音が大きく、小さくなるを繰り返しながら全体的な音の大きさが減少していった
 - ・ 干渉現象が生じたときに原子核から γ 線、電子から X 線が放出される、それは干渉現象により原子核が不安定になったため、それを安定させるために γ 線というエネルギーが放出される

2. 感想

理系、特に物理分野に興味があるのでこの授業を選択しました。物理というのは他の生物、化学とは異なり、エネルギーが視認できるわけでもなく実感がわきにくいと思います。だからこそ奥が深く、学びがいがあるものだと思います。今回、周波をオシロスコープで映すなどの実験を通して、「イメージ」が少しずつ「実感」につながりました。進路を考える上で有意義な時間になりました。

記入者：27 回生 1 年 5 組生徒



「人生を面白く生きるための在宅看護」

講師名 大村佳代子



1. 授業の概略

- 1) 在宅看護との出会い
- 2) わたしの研究遍歴
- 3) これからの在宅看護
- 4) 大学・学部紹介

2. 所属部・科等

兵庫県立大学 看護学部 生涯広域健康看護講座 I 在宅看護領域 准教授

3. 研究内容

- 1) 医師との連携により訪問看護師の役割拡大を図る訪問看護指示書の評価研究
- 2) 地域・在宅における小児看護ケア推進プロジェクト
- 3) 血友病医療における病院と在宅をつなぐ看護ケアの検証
- 4) 双生児研究法による在宅高齢者の嚥下障害の看護介入についてのエビデンス構築

4. 自己紹介

兵庫県加古川市出身。

2001年に大阪大学医学部保健学科看護学専攻を卒業。看護師として市立豊中病院小児科、セコム北大阪訪問看護ステーション、有料老人ホームアミーユ豊中庄本町にて働く。2008年～大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程、同博士後期課程に進学し、2010年に修士、2013年に博士(保健学)を取得。日本学術振興会特別研究員(DC2)、大阪大学ツインリサーチセンター特任講師、三重県立看護大学地域在宅看護学講師等を経て、2018年より現職。

5. 附属高生にメッセージ

私は何かに挑戦しようかどうしようか迷うとき、空想上のタイムマシンで呼び寄せたつもりで10年後の自分と対話してみます。10年後の私はいつもこう言うのです。人生で今日という日が一番若い！始めるなら今！——と。若い時は悩み多き時代ですが、30代40代は世界も広がり出来るが増え、段々と面白みが増してきます。若いうちに力を蓄え、今出来ることをやりきってみてください。面白い明日が待っているかも知れません。

題目「人生を面白く生きるための在宅看護」
兵庫県立大学看護学部 生涯広域健康看護講座Ⅰ 在宅看護領域
准教授 大村 佳代子 先生

1.授業内容

1)概要

今回の連携授業は主に在宅看護の現状、そしてこれからの在宅看護について授業をしていただいた。先生の体験や研究内容を交え、私たちが在宅医療をより身近に感じ興味を持つことに重点を置いた話だった。

2)具体的な内容

在宅看護 住み慣れた環境で、その人らしい生活が送れるよう療養生活、自立の援助を行うこと。

◎在宅看護と病院看護の違い

	在宅看護	病院看護
看護する期間	入院していない期間すべて	入院から退院まで
優先すること	QOL→その人がどう生きたいか	治療→生命維持、延命
看護師の役割	利用者とその <u>家族のサポート</u> →看護師はあくまで <u>脇役</u>	患者のサポート →早く退院できるよう、治療のサポート
重視する考え方	<u>健康は人生を楽しむための資源</u>	できるだけ長く生きることが最優先

⇒在宅看護と病院看護は大きく異なっている。

◎その他の在宅看護の特徴

- ・新生児から高齢者まで幅広い世代の看護を行う。
- ・終末期ケアを行う。→近年では、**End of Life (EOL)**と呼ばれている。
- ・医療依存度の高い人の看護も行う。→今では「手術以外は在宅でできる」と言われている。
- ・それぞれに合った看護が行える。
…親と未婚の子供で暮らしている世帯→介護の人手不足により自殺や介護殺人がおこる危険。
三世代世帯→育児と介護のダブル介護により、負担が大きくなる。
⇒この2つの世帯で求められる看護は違ってくる。
- ・離職率が高い…在宅看護 **15.0%** ⇔ 病院看護 **12.6%**
- ・「顔の見える連携」が大切になる。

◎これからの在宅看護

- 新型コロナウイルスの影響→
- ・ITの導入（電子カルテ、他事務所との連携）
 - ・遠隔医療・看護の実施

2.感想

授業の中で先生がおっしゃっていた「訪問看護において看護師は脇役でなければならない」という言葉が私の考えを大きく変えました。今まで私は、看護師が主役の病院看護しか知らなかったのでも驚きました。使用する器具にも使いやすいように工夫がされているということを知り、在宅看護は優しさや思いやりであふれているなと思いました。また実際在宅看護を利用する方は、余命わずかという人も多く、健康より残された人生をどう楽しむかに重点を置いている、という話を聞いたとき在宅看護の仕事はとても繊細なものだと感じました。消えゆく命を見守る家族とどのように関係を築いていけばよいのか、私には分かりません。でもその「分からない」を通して在宅看護についてもっと知りたいと思うようになりました。私は在宅看護の温かさはこれからも絶対に必要で、私もそんな仕事に就きたいと思いました。今回の授業を通して人生の選択肢を増やすことができたので、良かったです。

記録者：27回生1年5組生徒



「授業テーマ」 力学とスポーツ

講師名 比嘉 昌



1. 授業の概略

物理学の、特に運動方程式を利用してスポーツの動きを説明します。スポーツの指導時に様々なフォームが言われていると思いますが、その理由はなぜだか考えたことありますか？例えば、バットを振る時は脇を閉める、スクワットをするときは背筋を伸ばせ、などです。物理的に、動きの理由を考えていきましょう。今回は体操競技を取り上げます。

2. 所属部・科等

工学部、機械材料工学科

3. 研究内容

物理学の知識を利用して、医学に役立つものを作る研究をしています。主には、整形外科領域で使用される人工関節の設計を行っています。また、スポーツの力学解析も行っています。

4. 自己紹介

趣味：スポーツ全て
放課後はアメリカンフットボール部の指導。
週末はジムで筋トレ。

5. 附属高生にメッセージ

将来の選択肢は無限です。その選択肢の一つに、本日紹介する「生体工学」も入れておいていただくとありがたいです。

一年生高大連携授業 11月17日(火)

題目「力学とスポーツ」
兵庫県立大学工学部 機械材料工学科
教授 比嘉 昌 先生

1. 授業内容

1) 概要

今回の連携授業は、主に物理学の運動方程式を利用してスポーツの動きについて授業をしていただいた。身近な話も多く、物理的に、動きの理由を考えることが出来ました。

2) 具体的な内容

・運動の第二法則

$F=ma$ F :力 m :質量 a :加速度

$N=I\alpha$ N :力のモーメント I :慣性のモーメント α :角加速度

⇒慣性のモーメントとは？

$I = \text{質量} \times (\text{半径})^2$ $I = \sum m_i d_i^2$

・体操において

内村航平:回る時に足が伸びている⇒物理的に回りにくい

着地前に自ら手を開く⇒回転を止める、きれいな着地になる

白井健三:回る時に足を曲げている⇒物理的に回転しやすい

着地直前まで回り続ける⇒回転を止めない、回転数を稼ぐ

・野球において

<投球フォームの種類>

・サイドスロー

・横回転を利用、球が速い

・スリークォーター

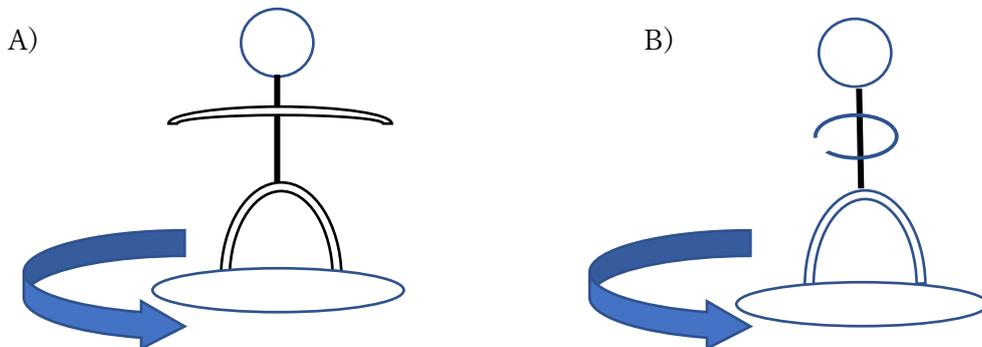
・横回転を利用、力が一番加わりやすい

・オーバースロー

・縦回転を利用

一番物理的に合理的な投げ方⇒スリークォーター

3) スポーツにみられる慣性のモーメント



慣性のモーメント： $I = \text{質量} \times (\text{半径})^2$ $I = \sum m_i d_i^2$

A) 半径が大きくなる

⇒加速度減少、回りにくい

B) 半径が小さくなる

⇒加速度増加、回しやすい

2. 感想

普段何気なくしていることの多くが物理的に説明できることがわかりました。

これからは、スポーツを観戦する時、物理的な視点からも楽しめたらいいと思います。

記録者：27回生1年4組生徒

